



あったかハート推進週間の取組（11月）

今年度、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。
11月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
11月	11/1（火）～4（金）	道徳科の授業③ 内容項目：公正, 公平, 社会主義

1 実際の授業

【2年生】



2年生は資料「つくえふき」を読んで、みんな気持ちよく過ごすためには、どうすればよいかについて話し合いました。まず、丁寧に机を拭いてもらう場合と、サッサッと机を拭いてもらう場合を比較しました。拭く人の立場で考えたときには「サッサッと拭いてもよいと思う」と考えた子供も、拭かれた人の立場で考えると「自分だったら適当に拭かれたら嫌だな」と発言していました。

授業の終わりには、仲のよい子の机は丁寧に拭いて、仲のよくない子の机はサッサッと拭いた登場人物に手紙を出すとしたら、どのような手紙を出すかについて考えました。「みんなの机を丁寧に拭くと、みんなが嬉しくなるよ」「適当に拭いてしまうと、悲しい思いをする人が出るよ」など、公平に接することのよさを考えて、登場人物に伝えることができました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・悪い心に勝つためには、我慢をすればよいと思いました。そうすれば、いたづらをなくせると思います。（1年生：みんなとたのしく「じゃんけんぼん」より）
- ・机を拭くときは、自分の机もみんなの机も丁寧に拭きたいと思います。家でもやってみます。（2年生：分けへだてない心「つくえふき」より）
- ・お年寄りや障害のある人も、安心・安全に過ごせるようにしたいと思いました。（3年生：正しく強い心「しんぱんは自分たちで」より）
- ・仲間はずれにしないように自分も気を付けたいと思いました。ぼくだったら、「一緒に遊ぼうよ」と声をかけてあげたいです。（4年生：むらの仲間として「やまびこ村の二人より」）
- ・いじめられている人がいたら、絶対に助けてあげて、少しでも居場所を作ってあげたいと思いました。（5年生：不正に立ち向かう強さ「いじめをなくすために」より）
- ・自由と平等は、すべての人が幸福になるために必要だと思います。一人一人が幸福を追いかけるためには、この2つが必要だと思います。（6年生：正義の実現「奴隷解放の父リンカン」より）